

東濃農林事務所の普及活動状況

令和7年2月

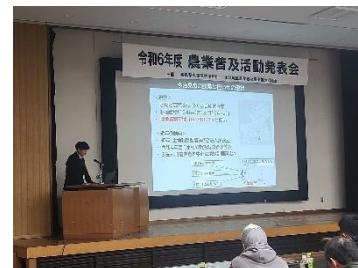
今月の重点活動

■土岐地区農業普及事業推進協議会 農業普及活動発表会を開催

東濃農林事務所は、2月21日に土岐地区農業普及事業推進協議会と共催で「農業普及活動発表会」を開催し、東濃管内の農業者や関係機関等、約60名が参加した。

発表会は、農業普及課が日ごろの普及活動の中から、水田担い手の持続的な経営に向けて、水稲べんがらモリブデン直播の導入について報告した。次に多治見市の認定新規就農者から、現在の経営概要と将来の展望について発表し、規模拡大による経営発展への意欲を示した。また、講師にアグリコネクト株式会社の常務取締役を招き、「今後の農業経営と地域農業の活性化」と題して講演会も行った。講演会では、講師から中山間地域の農業活性化には様々な業種との連携が必要であり、今後の東濃地域の農業の発展に向けた取り組みに期待したい旨のエールが送られた。

農業普及課では、引き続き関係機関と連携し、農業者が抱える課題解決に向けた普及活動を通じて、地域農業の発展に寄与していく。



【農業普及活動発表会の様子】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■農事組合法人 総会の開催

2月11日に、土岐市の農事組合法人が総会を開催し、令和6年度の実績と令和7年の計画について審議し、可決された。

当該法人は、去年の11月に設立し、今年度から本格的に運営が始まり、学校給食への米の提供や、児童に米の生産について伝える「ふれあい給食」に参加し、地域と深く関わりながら活動を行っている。代表理事は、今後も地域と寄り添いながら地域の田園風景を守っていくと意気込みを語った。

また、当該法人は来年度から、東濃地域で栽培を行っている酒造好適米「酔むすび」の生産を行う予定であり、今年度4回開催した産地づくり研究会にも参加した。地域の特産品づくりへの貢献が期待されている。

農業普及課は「酔むすび」の栽培管理を中心とした栽培管理の支援を通して、法人の活動をサポートしていく。